寸　言

株式会社中央図研
代表取締役
柳田　雅史

航空宇宙産業の技術情報利用高度化への取り組み

　このたび、日本航空宇宙工業会に入会させていただき、業界の皆さまと共に未来を築いていけることを大変光栄に感じております。新たにこのような伝統ある工業会の一員として、航空業界にさらなる貢献ができる機会を得たことに深く感謝申し上げます。

　私ども株式会社中央図研は、1977年の創業以来、航空機、自動車、建設機械、電力プラント分野における設計、CAE解析、技術マニュアル制作、プロダクトサポートを中心に事業を展開してまいりました。近年では、システム開発をアップデートし、AR/VRなどを取り込んだ新しいソリューションとして展開し、これからの成長分野に位置づけております。

　その中でも主軸の航空機技術マニュアル制作の分野では、1999年より海外の機体製造プライム向けの英文技術マニュアル制作請負業務を開始し、以来国内メーカー様の整備マニュアルデータの制作に携わってまいりました。現在、国内の主要な航空機部品メーカー様からのご依頼が増加しており、この分野で高い信頼をいただいております。また、新たに航空機MRO事業分野においても、整備手順書管理システムの構築支援や、提携する海外MROソリューションソフトウェアを活用した機体整備業務の効率化コンサルティングを行っており、官民問わず、お客様の航空機運用のライフサイクルコスト削減に寄与しています。

　今回の入会に至った背景には、航空宇宙産業や防衛分野において重要性を増している技術マニュアルの国際標準「S1000D」の本格的な国内導入があります。国内でこの規格の活用が進行する中で、微力ながら実務面でお役に立てると考えたことが理由の一つです。

「S1000D」は、航空宇宙産業や防衛分野で広く採用されている国際標準「S-Series」の一つであり、これを実務レベルで運用し成果を上げるには、高度な専門知識と深い実務経験が不可欠です。たとえば、ビジネスルールと呼ばれる450を超える各種ルールの策定や各種技術マニュアルそれぞれの体裁を定義するXSLTスタイルシートの作成といった作業は、規格への深い理解と繊細な対応が求められる分野です。これらの業務は、多くのマニュアル制作現場で課題となることが少なくありません。

　現在に至るまで培ってきた経験とノウハウは、国内防衛分野および航空宇宙産業全体での「S-Series」規格の展開においても貢献できると確信しています。これらの取り組みを通じて、規格の円滑な導入をご支援させていただくとともに、国内航空業界全体の国際競争力の強化に貢献できればと考えています。

　航空宇宙産業や防衛分野は、技術革新が急速に進む非常に挑戦的な分野です。このようなダイナミックな環境の中で、私たちも学びを深め、さらなる成長を目指してまいります。貴工業会の皆さまと共に、未来を切り開いていけることを心より楽しみにしております。